



管機連だより

(一社) 全国管工機材商業連合会

スローガン

1. 適正利潤の確保
1. 取引改善の徹底
1. 工・製・販の協調
1. 組合認識の高揚
1. 環境保全の推進

本部ニュース

今般、南海トラフ巨大地震や首都直下地震等の発生が懸念される中、これら大規模災害時においても、国民生活や社会経済活動に必要不可欠なインフラである水道には迅速な対応が求められていることから、公益社団法人日本水道協会では、会員水道事業者相互の応援ルールを定めた

「地震等緊急時対応の手引き」に基づき、全国の会員の協力のもと災害発生時の応援活動を実施しているが、関係者間の連携を一層強化するとともに、災害対応能力の更なる向上等を図るため手引きに基づき平成30年11月6日(火)、7日(水)に全国訓練を実施することとした。

訓練場所

- ・静岡市上下水道局庁舎
(静岡県静岡市葵区七間町15番地の1)
- ・ツインメッセ静岡
(静岡県静岡市駿河区曲金3丁目1番10号)
- ・その他静岡市 各施設 とする

【平成30年度第1回災害対策担当理事会議開催】

日本水道協会 全国地震等緊急時訓練に先立ち
11月6日(火)12時10分より15時までホテルセンチュリー静岡において全管連から原災害担当理事(神奈川県連)、松原災害担当理事(福島県連)、神田災害担当理事(静岡県連)、工藤災害担当理事(熊本県連)伊藤総務部長(静岡県連)上田事務局長、管機連から橋本会長、橋本総業(株)田所常務、事務局(佐々木)が出席して災害対策担当理事会議が開催され下記議案につき議論が行われました。

第1号議案

日本水道協会「全国地震等緊急事訓練」平成30年度応援訓練の視察などについて
日本水道協会では、水道界初の試みとして全国から水道事業者が参加する「日本水道協会 全国地震等緊急事訓練 平成30年度応援訓練」を静岡で実施する

第2号議案

全管連災害義援金の取扱いについて



災害対策担当理事会議

日本水道協会 平成30年応援訓練



場所	ツインメッセ静岡（11月6～7日）
主旨	全国の水道事業者 約1500団体を正会員とし それらを7つの地方支部に分け 活動 平成30年応援訓練は、水道界 初の訓練
	①被災地での情報共有や作業指示についての 地方支部ごとのノウハウや工夫を共有する
	②普段の訓練では経験できない長距離移動や日常とは異なる道路事情の道を走る
	③災害を受けた 受援側の体制を見直し。新たな気づきを得る機会とする
概要	①実施場所 静岡 ツインメッセ 上下水道庁舎 そのた 小中学校 ②参加事業体 63事業体・参加者数261名・給水等車両 111台 ③実施訓練メニュー ・参集訓練・中継水道事業体活用訓練・応援水道事業体受入訓練 ・水道給水対策本部訓練・応急給水訓練・応急復旧訓練・災害対策方法等情報交換会 ・報告書作成訓練・応急給水・応急復旧活動報告訓練・帰還訓練



事前会議



田辺静岡市長



宮内名古屋市局長



吉田理事長



7地方支部集合報告



本部長他



各支部席



各支部席



全体会議



給水車配車指示



給水車集合



給水車出発



応急復旧訓練



応急復旧訓練



応急復旧訓練



応急復旧訓練



応急復旧訓練



フランジ復旧



給水(タンク)取出



地区訓練報告